

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 660 号

平成30年10月20日編集

発行所
 公益社団法人 埼玉県獣医師会
 〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
 (埼玉県農業共済会館内)
 電話 048(645)1906
 FAX 048(648)1865
 E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
 URL : http://www.saitama-vma.org/
 振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高橋 三男
 編集責任者 大橋 邦啓
 印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

- 埼玉県獣医師会創立70周年記念事業及び平成30年度集合狂犬病予防注射実施者講習会の開催について(再通知) 1
- 埼玉県獣医師会主催第40回ソフトボール大会開催される..... 2
- 北海道胆振東部地震復旧支援・動物救護活動のための支援金募集について..... 8

会務報告

- 第1回厚生委員会.....10
- 第2回獣医事調査委員会.....10
- 第3回理事会.....10

予告

- 北支部学術講習会のお知らせ.....12
- 東支部学術講習会のお知らせ.....12
- 西支部開業部会研修会のお知らせ.....13

新入会員報告

- 新入会員紹介.....13

ひろば

- 西支部学術講習会開催報告.....14
- 第143回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ結果報告.....14

お知らせ

- 岐阜県で発生した豚コレラに係る移動制限区域の解除について.....15
- 日本獣医師会からの通知について.....16

切り抜きニュース

- 犬や猫と共に生きる.....19
- 団地猫 癒しか迷惑か20

埼玉県獣医師会学術広報版22

事務局より

- 事務局メモ.....23

編集後記24

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

公益社団法人埼玉県獣医師会創立70周年記念事業及び 平成30年度狂犬病集合予防注射実施者講習会の開催について

本会は昭和24年2月の創立以来70周年を迎えました。これはひとえに歴史を刻んできた会員の皆様を始め関係各位のご指導の賜物と深く感謝を申し上げる次第でございます。

つきましては、下記により記念事業を開催することといたしました。10年に一度の記念すべき事業です。また、今後オリンピックで世界の人々を迎えるにあたり、狂犬病をはじめとする人獣共通感染症予防や生産から流通までの広範囲にわたる食の安全安心確保など、我々獣医師に課せられた使命は計り知れないものがあります。今回は狂犬病集合予防注射実施者講習会としても開催させていただきますので、ぜひとも皆様多数ご出席をいただき、社会に貢献する獣医師会であることを再認識していただきますようお願い申し上げます。

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会長 高橋 三男

会員各位

記

日 時 平成30年11月25日（日）14：00～17：20

場 所 清水園（さいたま市大宮区東町2-204）3階

内 容

1 創立70周年記念事業及び平成30年度集合狂犬病予防注射実施者講習会

(1) 記念式典 14：00～15：20

(2) 記念講演会 15：30～17：20

ア 狂犬病など人獣共通感染症について（仮題）

（公社）日本獣医師会副会長 酒井健夫 様

イ 二次診療、高度獣医療の実態と今後の展望（仮題）

東京大学教授 辻本 元 様

ウ 県政における課題と対応（仮題）

埼玉県知事 上田清司 様

2 祝賀会 17：40～19：30

来 賓 埼玉県知事、さいたま市長、国会議員、県・さいたま市議会議員、
日本獣医師会会長、埼玉県医師会会長ほか

参加費 会員5,000円

記念式典及び記念講演会を平成30年度集合狂犬病予防注射実施者講習会として開催します。

受付開始は13時00分としますので、開始時間に遅れることのないようお願い申し上げます。

祝賀会参加費 会員5,000円（すでに祝賀会を欠席で回答された先生もまだ変更は可能です。ぜひ出席していただき、多方面にわたる来賓の方と情報交換をしてください。）

なお、開業部会会員の出欠席については、各支部ごとに取りまとめでいただいております。

勤務部会の会員の皆様へ

勤務部会（衛生支部、農林支部、団体支部）の会員で出欠席の回答をいただいていない方は、先月号会報に同封の「出欠席報告書」を至急事務局に送付してください。（FAXまたはE-mail）

埼玉県獣医師会主催

第40回ソフトボール大会開催される

恒例の埼玉県獣医師会主催ソフトボール大会は第40回と記念すべき大会となり、平成30年10月8日（月・体育の日）に大宮けんぼグラウンドSフィールドで開催されました。当初は東松市内のグラウンドで開催する予定でしたが、都合により5面のグラウンドが確保できず、昨年同様規模を縮小しての開催も検討しましたが、第40回の記念すべき大会であるため、5面確保できる会場を探した結果、高橋会長から大宮けんぼグラウンド内に、公益社団法人さいたま観光国際協会が管理するSフィールドがあるとの情報を頂き、5面を確保することができ、規模を縮小せずに第40回の節目となる大会を実施することができました。

当日は、午前8時30分から厚生委員会を開催して大会運営について協議をし、午前9時から開会式を行いました。



開会式で挨拶する高橋三男会長

開会式

開会式は、米元仁厚生委員会副委員長の司会により進行されました。

中村滋副会長の開会のことばに続き、高橋三男会長の挨拶、来賓の農林部畜産安全課長 丸山盛司先生（農林支部）の御祝辞を頂きました。

続いて、さいたま市ソフトボール協会審判委員長の岡田貢さん以下5名の審判員が紹介され、対戦でのルールと注意事項の説明を磯部哲治先生（北支部）が行いました。昨年優勝のさいたま市支部チームの高橋一成先生が優勝カップの返還を行い、さいたま市支部の永野憲次先生が選手宣誓を行いました。

次に、賛助会員様の紹介および御協賛品の紹介、向井海渡先生（農林支部）の先導による準備体操の後、午前9時30分から試合が開始されました。



埼玉県畜産安全課長 丸山盛司先生(農林支部)



永野憲次先生(さいたま市支部)による選手宣誓



高橋一成先生(さいたま市支部)から高橋三男会長に優勝トロフィーの返還

優勝を目指して14チームが熱戦

予定していた14チーム全てが参加するなか、高橋三男会長、中村滋副会長、小暮一雄副会長、丸山盛司畜産安全課長（農林支部）により、それぞれのグラウンドで始球式が行われ、優勝を目指して熱戦が繰り広げられました。

試合は、一回戦の敗者チームが戦う特別戦や賛助会員同士の対戦も生まれ、トーナメント形式により延べ21試合の戦いが5面のグラウンドで行われました。

厚生委員の先生方の適切な運営により円滑に進み、日頃の練習成果を如何なく発揮して、豪快なフルスイングや泥まみれで白球を追う姿に、選手も応援団も一喜一憂し、試合を重ねるごとに熱気を帯びた戦いとなりました。



グラウンドでは熱戦が繰り広げられた。

交流を深める各チーム

今回は休憩時間を12時20分から13時までの40分間とし、十分な時間を取ることができませんでした。が、慌ただしい中でも昼食を楽しむ姿が見られ、会員相互の交流を深めることができました。

決勝戦－衛生支部チームが優勝！特別戦はアクティ（株）チームが制する－

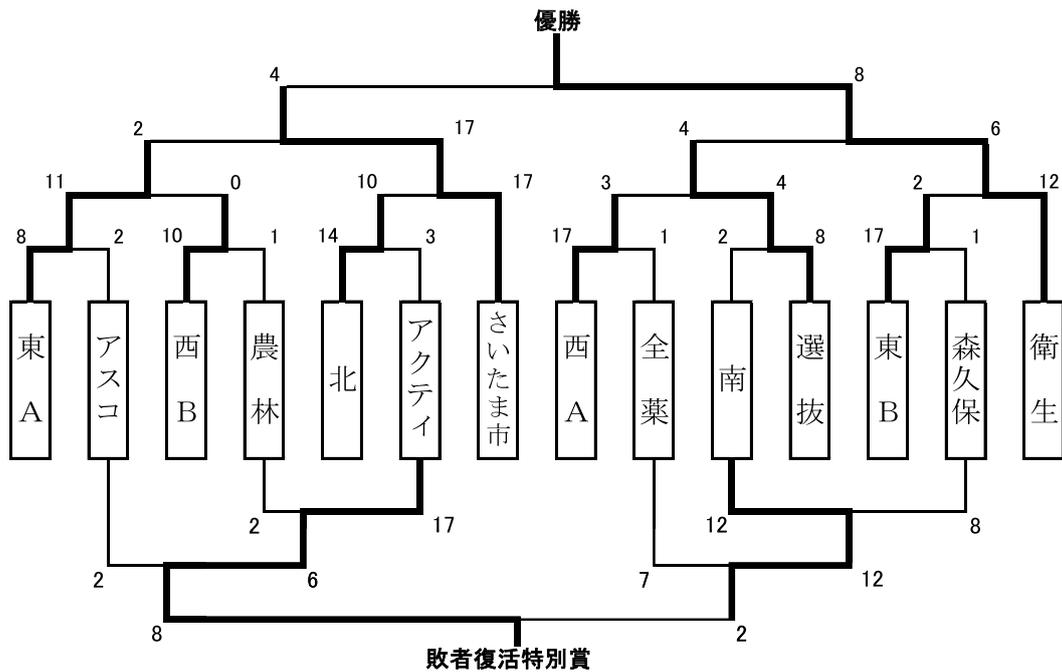
決勝は衛生支部チームと東支部Aチームの対戦となりました。

初回から強打を発揮した衛生支部チームが5得点を挙げ、7点差で迎えた最終回に必死で追いつがる東Aチームを3点に抑え、8対4で栄冠を手に入れました。

一方、敗者復活の特別戦は、アクティ（株）チームが、決勝で南支部チームを破り、めでたく特別賞を獲得いたしました。



衛生支部チームと東支部Aチームの決勝戦



決勝戦 対戦表

回数	1	2	3	4	5	計
チーム名						
東 A	1	0	0	0	3	4
衛生	5	0	1	2	×	8

閉会式

熱戦を終えて午後3時から閉会式が行われました。

田口修委員（東支部）の成績を発表に続き、表彰式は川辺貴久委員(南支部)の進行により、優勝した衛生支部チーム、準優勝の東支部Aチーム、3位のさいたま市支部チーム及び選抜チーム、また、特別戦を制したアクティ（株）チームに高橋三男会長から賞状やトロフィーが授与され健闘を称えました。



衛生支部チームに優勝トロフィーを授与



特別賞を受賞するアクティ(株)チーム

また、大会を最も盛り上げてくれた選手お二人に最高殊勲選手賞と敢闘賞を授与するとともに、開催の準備と運営に多大な御協力を賜りました審判団には、記念品を贈呈し、その労をねぎらうとともに感謝の意を表しました。

大会を盛り上げてくれた選手は次の方です。

最高殊勲選手賞 衛生支部 河手達彦選手
敢 闘 賞 東 支 部 田 口 修 選 手



最高殊勲選手賞を受賞する河手達彦先生



敢闘賞を受賞する田口修先生



優勝を飾った喜びの衛生支部チーム

終わりにあたり、山中利之厚生委委員長の万歳三唱と小暮一雄副会長の閉会の言葉をもって、第40回ソフトボール大会は午後3時30分に盛会裡のうちに無事、幕を閉じました。



山中利之厚生委委員長の音頭により全員で万歳三唱

開催にあたり厚生委員の先生方を始め、お手伝い頂いた皆様には、早朝からグラウンド整備や大会の準備に御苦勞を頂きました。また会場変更による審判員の派遣につきましては、団体支部の大山通夫先生に御尽力頂きました。

また、賛助会員の皆様には多くの賞品等を御協力頂くなど御支援を賜り厚く御礼申し上げますとともに、お忙しい中、御参加を頂いた多くの会員の先生方、並びに御家族の皆様に変更で感謝申し上げます。



参加者全員で記念撮影

平成30年10月17日

会員各位

公益社団法人埼玉県獣医師会
会長 高橋 三男

北海道胆振東部地震復旧支援・動物救護活動のための 支援金募集について

今回の北海道胆振東部地震の発生に伴い我々の仲間である現地の動物診療獣医師はじめ多くの方々が多大で困難な事情に直面しております。埼玉県獣医師会は、この度、被災地の動物救護活動等の推進確保や獣医療提供体制の復旧対策に充てる目的で日本獣医師会が定めた「平成30年度北海道胆振東部地震動物救護活動等支援金」募集要領（別紙）の趣旨に則り、埼玉県獣医師会会員から支援金を募り、県内を取りまとめの上、日本獣医師会に送金いたします。

つきましては、趣旨をご理解の上、下記の期間内に埼玉県獣医師会が指定する口座に支援金をお振込み頂きますよう御協力をお願いいたします。

記

募金の期間 平成30年10月から12月末までの間

〔 日本獣医師会では、中間集計を12月末に行い、現地における動物救護活動等の推進状況を踏まえ、募金の募集期間を決定する。 〕

支援金振込方法

同封の郵便振込用紙をご利用いただき、次の埼玉県獣医師会の口座（ゆうちょ銀行）にお振込下さいますようお願いいたします。

00100-8-352420（ゆうちょ銀行払込取扱票）

公益社団法人埼玉県獣医師会

【別紙】

公益社団法人 日本獣医師会
「平成 30 年北海道胆振東部地震動物救護活動等支援金」
募 集 要 領

1 趣 旨

日本獣医師会は、会員地方獣医師会、構成獣医師等の支援・協力の下で、今回の地震災害に見舞われた中、被災地において被災保護動物に対する診療の提供を含む動物の救護活動（以下「動物救護活動」という。）等に従事される方々を支援すること等を目的として「平成 30 年北海道胆振東部地震動物救護活動等支援金」を募集する。

2 支援金の名称

平成 30 年北海道胆振東部地震動物救護活動等支援金

3 募金の期間

平成 30 年 10 月から当分の間（中間集計を 12 月末に行うが、募金の募集期間は、現地における動物救護活動等の進捗状況を踏まえ決定する。）。

4 支援金の募集と振込み（寄附）先

会員地方獣医師会は、前記 1 の趣旨を受け、会員構成獣医師からの支援金の募集活動に当たっていただき、取りまとめた支援金（自らの拠出を含む。）を次の支援金振込口座に振り込むこととする。

【日本獣医師会「平成 30 年北海道胆振東部地震動物救護活動等支援金」振込口座】

※地方獣医師会へ紹介しています。

5 支援金の使途

前記 4 により所定の支援金振込口座に入金された支援金は、今回の地震災害に起因して行う動物救護活動等の推進と当該被災地の獣医療提供体制の復旧を支援するとともに、募金状況を踏まえて緊急災害時の動物救援活動の強化に充てる。

第1回 厚生委員会

平成30年10月8日（月・祝）午前8時から、さいたま市の大宮げんぼグラウンドSフィールドにおいて、第40回ソフトボール大会の開始に向けて会場の準備や大会運営について再確認した。

また、埼玉県獣医師会主催のボウリング大会について協議し、平成31年2月24日（日）を予定日として準備を進めることとなった。

第2回 獣医事調査委員会

平成30年10月10日（水）午後1時30分から、さいたま市「埼玉県農業共済会館」会議室において次の事項を協議した。

1 会長挨拶

一昨日のソフトボール大会は40回という記念すべき大会であったが、大宮けんぼグラウンドで好天に恵まれ無事開催することができた。2月にはボウリング大会も予定している。多くの方に参加していただき懇親を深めていただきたい。

この委員会は獣医師会入会への第一のハードルとなっている。慎重な審議をお願いしたい。

2 協議事項

(1) 新入会員の審査について

入会申込みのあった、開業部会2名（新規2名）及び勤務部会15名（新規13名、転入2名）について審査し、全て適切なものとして、理事会に付議することとなった。

(2) その他

過去5年間の新入会員数の推移や狂犬病予防に関する資料など、最近の獣医事をめぐる情勢について意見交換した。

第3回 理事会

平成30年10月12日（金）午後1時30分から、さいたま市「埼玉県農業共済会館」会議室において、次の事項を審議した。

1 会長挨拶

行政と共に官民一体となった事業を成し遂げるのが公益社団法人である。本日は時間の許す限り事業について協議して頂きたい。

また、70周年記念事業についても十分に協議をして頂き、11月25日の記念事業当日を迎えたいのでよろしくお願ひします。

2 報告事項

(1) 前理事会後開催された委員会等に関する件

ア 第1回狂犬病予防委員会及び班長会議

平成30年度集合狂犬病予防注射実施状況の報告と検討を行った。（7月12日）

イ 第1回厚生委員会

ソフトボール大会とボウリング大会の開催について協議した。（10月8日）

ウ 第2回獣医事調査委員会 新入会員の審査について協議した。（10月10日）

- (2) 業務執行理事職務執行状況に関する件
業務執行理事からそれぞれの職務について執行状況が報告された。
- (3) その他
西日本豪雨災害動物救護活動等支援金の募集終了について報告

3 決議事項

- 第1号議案 平成30年度新入会員の承認に関する件
入会申込（開業部会2人、勤務部会7人）について審査の上、承認した。
- 第2号議案 平成29年度傷病野生鳥獣治療業務等経費の配分承認に関する件
平成29年度傷病野生鳥獣治療業務及びアライグマ処分業務に係る委託費について、指定診療施設ごとの配分額を承認した。

4 協議事項

- (1) 平成30年度集合狂犬病予防注射実施者講習会開催に関する件
平成30年度集合狂犬病予防注射実施者講習会を平成30年11月25日の70周年記念式典、記念講演会と兼ねて開催することを決定した。
- (2) 創立70周年記念事業に関する件
記念誌の編集、記念事業の来賓名簿、進行計画、会場配置などについて協議した。
- (3) その他
獣医内科アカデミー学術大会参加者への助成について報告した。

広告



こわい狂犬病から
ぼくを守ってね

毎年1回の狂犬病予防注射を忘れずに！



研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所
製造販売元 松研薬品工業株式会社

〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号
TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344
URL: <http://www.matsuken-yakuhin.com>
E-mail: daihyo@matsuken-yakuhin.com

■ 松研狂犬病 TC ワクチン

劇 要指示 指定

松研の動物用生物学的製剤

豚用ワクチン

- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF・10
- ポーシリス Begonia DF・50

水産用ワクチン

- Mバック レンサ 注
- Mバックイニエ
- 松研Mバック IPレンサ

家畜用抗毒素

- 破傷風血清

予 告

北支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(4)小3(12))

北支部長 大橋 邦啓
学術委員 田口 正行

北支部では、12月9日(日)奥野征一先生(群馬県伊勢崎市開業、神経・筋疾患専門病院 ACORN獣医神経病クリニック院長)をお招きして『疼痛を主徴とする神経筋疾患の診断と治療』と題して学術講習会を開催いたします。

原因不明の疼痛を主徴として来院され、頸の椎間板疾患を疑って治療する機会が多いと思います。明らかな頸部痛があればいいのですが、診察台の上で痛みを示してくれない症例も多く、診断・治療に不安を感じている先生は多いことと思います。

この機会に神経・筋疾患の専門病院を開業されている奥野先生に診断、治療について整理していただいては如何でしょうか?

多くの先生方のご参加をお待ちしています。

日 時 平成30年12月9日(日)
13:30~17:00

場 所 深谷市男女共同参画推進センター 多目的ホール
深谷市上柴町西4-2-14 アリオ深谷3F(キララ上柴内)
TEL 048-573-4761
※深谷駅南口よりアリオ深谷行の無料循環バスが運行しています。



演 題 「疼痛を主徴とする神経筋疾患の診断と治療」

講 師 獣医神経病クリニックACORN 院長 奥野 征一 先生

参 加 費 埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 3,000円

東支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(4)小3(12))

東支部長 渋谷 正志
学術委員 佐久間昭仁

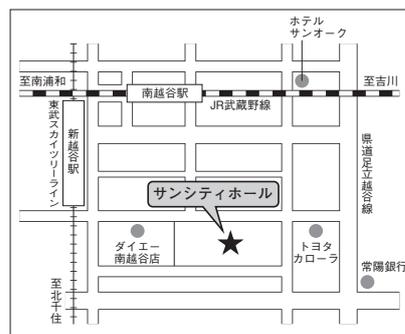
東支部では、12月9日(日)松木 直章先生(まつき動物病院)をお招きし、「犬と猫の糖尿病の維持管理・糖尿病性ケトアシドーシス」と題して学術講習会を開催いたします。松木先生から、受講者の先生に送られました講習会の概略をご紹介します。

「糖尿病の犬・猫ともに、血糖コントロールに苦慮している先生は少なくないと思います。早期に良好な血糖コントロールに導入するため、インスリン製剤の選択のツボや、新しい血糖測定デバイスの使用法を紹介します。ケトアシドーシスの治療法の要所についても解説します。」

今年度の東支部最後の講習会となります。多くの先生の出席をお待ちしています。

日 時 平成30年12月9日(日)
14:30~18:00頃(受付14:00~)
※講演内容、休み時間などで多少前後いたします。

場 所 越谷サンシティ
越谷市南越谷1-2876-1
TEL 048-985-1111



演 題 「犬と猫の糖尿病の維持管理・糖尿病性ケトアシドーシス」

講 師 まつき動物病院 院長 松木 直章 先生

参 加 費 埼玉県獣医師会会員 1,000円(シラバス代、飲み物代含む)
会員以外の受講者 5,000円(シラバス代、飲み物代含む)

西支部開業部会研修会のお知らせ

西支部支部長 別部 博司
西支部開業部会第1運営委員 豊泉 正重
西支部開業部会第2運営委員 山田 剛久

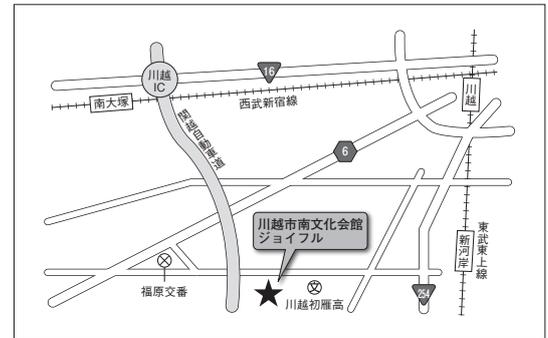
近年、ペットの診療に伴う訴訟は急速に増えてきました。それらの原因は獣医療過誤のみならず、些細なコミュニケーション不足によって思わぬ事態へと発展してしまうこともあります。西支部では法医学のエキスパートで臨床獣医師でもある岩上悦子先生をお招きして「開業獣医師のリスクマネジメント」に関する講演会を開催致します。

岩上先生には、臨床獣医療はどのような法律に裏付けされているのかを解説していただくとともに、公表されている獣医療訴訟から見えてくる実態と、獣医師に求められるリスクマネジメントまでをわかりやすく解説して頂きます。

診療に伴うトラブルの原因究明と対策について再認識をするいい機会になれば幸いです。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時 平成30年12月16日（日）13時30分より
場 所 川越南文化会館（ジョイフル）第4会議室
〒350-1151 川越市今福1295-2
TEL 049-248-4115

演 題 判例に学ぶ～開業獣医師のリスクマネジメント
講 師 岩上悦子先生
日本大学医学部社会医学系法医学分野
参加費 埼玉県獣医師会会員 1,000円



新入会員報告

新 入 会 員



みうら ひろつぐ
三浦 広嗣
南支部



さとう あきら
佐藤 朗
東支部



やすかわ ゆかこ
安川 結夏子
農林支部

開業部会

支 部 名	氏 名	診療所所在地・名称
南	三浦 広嗣	草加市・氷川町動物病院
東	佐藤 朗	春日部市・小暮動物病院

勤務部会

支 部 名	氏 名	診療所所在地・名称
農林	安川 結夏子	埼玉県農業技術研究センター

西支部学術講習会開催報告

西支部長 別部 博司
 学術委員 佐藤 博司

9月30日(日)東松山市 ホテル紫雲閣にて西支部学術講習会を開催いたしました。小暮一雄先生(所沢愛犬病院 院長 日本生命科学大学 客員教授)をお招きし『家庭動物の終末期獣医療におけるアジェンダ』『ホームドクターによるイヌの僧房弁逸脱症の臨床』という演題でご講演いただきました。

第一部では医学における医師の患者さんへ寄り添う姿勢から私たち獣医師の『死生観』への足掛かりを授けてくださいました。また第二部では開業医が確信をもって僧房弁逸脱症を診療する為の講習を時間ギリギリまで行ってくださいました。講師の小暮先生、御参加して下さった先生方に心より感謝申し上げます。

<参加者内訳>

出席者	さいたま支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
23名	1名	0名	21名	0名	1名	0名	0名

第143回 埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ結果報告

埼玉県獣医師会ゴルフ同好会会長 長谷川 繁雄
 幹事 小堺 正人
 幹事 齊藤 祐司

秋雨前線、台風の影響が残る9月27日、名門高麗川カントリークラブにおいて第143回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペが24名の参加者で開催されました。幸い、雨風の影響はほとんどなく無事プレーすることが出来ました。

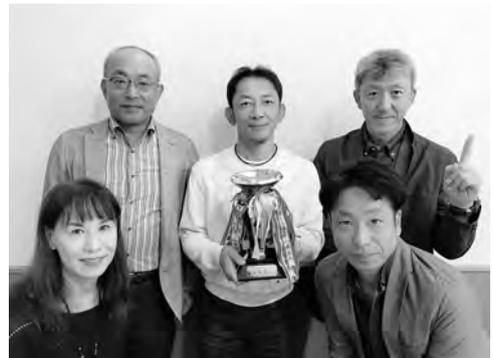
結果は、数年前より交流をしている神奈川県獣医師会ゴルフ同好会所属の山本真朗先生が初優勝、第3位に同じく神奈川の平井久代先生が入賞しました。また、ベストグロスも神奈川の佐々木顕正先生が獲得し、神奈川県獣医師会が好成績を収めたコンペとなりました。

成績は以下の通りです。

	氏名(所属)	ネットスコア
優勝	山本 真朗先生(神奈川県獣医師会)	66
準優勝	高野辺智和さん(賛助会員)	66
第3位	平井 久代先生(神奈川県獣医師会)	69

ベストグロス 佐々木 顕正先生(神奈川県獣医師会) 80

次回は12月6日(木)越生の日本カントリークラブにて開催される予定です。和気あいあいの楽しい会ですので、会員の皆様の参加をお待ちしております。



左から 平井久代先生(神奈川県獣医師会)、長谷川繁雄ゴルフ同好会会長、山本真朗先生(神奈川県獣医師会)、高野辺智和さん(賛助会員)、佐々木顕正先生(神奈川県獣医師会)

お知らせ

プレスリリース

岐阜県で発生した豚コレラに係る移動制限区域の解除について

平成30年10月9日
農林水産省

岐阜県は、同県岐阜市で確認された豚コレラに関し、平成30年10月9日（火曜日）24時（10月10日（水曜日）午前0時）をもって、発生農場の半径3km以内で設定している移動制限区域を解除します。これにより、今回の豚コレラ発生に伴う全ての制限が解除されます。なお、本件は、岐阜県においてもプレスリリースを行っております。

1.経緯及び今後の予定

- (1) 9月9日、岐阜県は、同県岐阜市の養豚農場において豚コレラが発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域。対象農場0戸）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域。対象農場3戸）を設定しました。
- (2) 9月10日、当該農場で飼養されている豚の殺処分及びその死体の埋却が完了、翌9月11日、汚染物品の処理や畜舎の消毒等についても完了し、当該農場における防疫措置を完了しました。
- (3) 岐阜県は、特定家畜伝染病防疫指針に基づき、発生農場の防疫措置が完了した9月11日（火曜日）から28日が経過する、10月9日（火曜日）24時（10月10日（水曜日）午前0時）をもって、発生農場の半径3km以内で設定している移動制限区域を解除します。これにより、今回の豚コレラ発生に伴う全ての制限が解除されます。

2.その他

(1) 豚コレラは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。食品安全委員会の見解によれば、仮に豚コレラにかかった豚やいのししの肉等を食べても人体に影響はないとされており、正確な情報に基づいて冷静に対応していただくようお願いいたします。

（参考）食品安全委員会ホームページ

<http://www.fsc.go.jp/sonota/csf/>（外部リンク）

(2) 現場での取材は、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。

3.参考

- ・平成30年9月9日付けプレスリリース「岐阜県における豚コレラの患畜の確認及び「農林水産省豚コレラ防疫対策本部」の開催について」
http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/180909_32.html
- ・平成30年9月9日付けプレスリリース「「農林水産省豚コレラ防疫対策本部」における対応方針の決定について」
http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/180909_31.html
- ・平成30年9月18日付けプレスリリース「「農林水産省豚コレラ防疫対策本部」における対応方針の追加について」
<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/180918.html>
- ・平成30年9月28日付けプレスリリース「岐阜県で発生した豚コレラに係る搬出制限区域の解除について」
http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/180928_9.html

お問合せ先

消費・安全局動物衛生課

担当者：山野、山木

代表：03-3502-8111（内線4582）

ダイヤルイン：03-3502-8292

FAX番号：03-3502-3385

事務連絡

平成30年9月26日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会
専務理事 境 政人

ペットフードからのサルモネラの検出について（注意喚起）

このことについて、平成30年9月13日付け事務連絡をもって、環境省自然環境局総務課動物愛護管理室から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、一部のペットフードからサルモネラが検出されたとの報告を受け、農林水産省よりペットフード関連団体あて注意喚起を行った旨、連絡されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事務連絡

平成30年9月26日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会
専務理事 境 政人

高濃度PCB 使用安定器の早期処理の徹底に係る周知依頼

このことについて、平成30年9月6日付け事務連絡をもって、環境省自然環境局総務課動物愛護管理室から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、高濃度PCB含有安定器を使用した照明器具が昭和52年3月以前に建築・改修された建物に使用されている可能性があり、そうした安定器が経年劣化することでPCBが漏れ出す事故が多発している状況を踏まえ、該当する機器の保管・使用状況について調査依頼する旨本会に連絡されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

30日獣発第179号
平成30年10月3日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

平成30年度における高病原性鳥インフルエンザ等の 防疫対策の強化について

このことについて、平成30年9月12日付け30消安第2974号をもって、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、本年4月に公表された「平成29年度における高病原性鳥インフルエンザの発生に係る疫学調査報告書」の提言を踏まえ、渡り鳥の本格的な飛来シーズンを迎えるに当たり、本病の円滑な防疫対策の実施への協力とともに、本会会員等に対する都道府県の家畜防疫員による飼養衛生管理の確認のための立入検査、定点モニタリング及び強化モニタリングの検査対象農場の選定等への協力が依頼されたものです。

ついては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事務連絡
平成30年10月3日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会
専務理事 境 政人

動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令の制定について

このことについて、平成30年9月21日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜産安全管理課課長補佐から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則の一部を改正する省令（平成30年厚生労働省令第116号）の施行に伴い、動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令（平成30年農林水産省令第62号）が公布・施行され、第163条中の文言が改正された旨、本会に連絡されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事務連絡

平成30年10月11日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会
専務理事 境 政人

動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令の制定について

このことについて、平成30年9月28日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）第83条第1項の規定により読み替えて適用される同法第36条の8第1項、第44条第2項及び第49条第1項の規定に基づき、動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令（平成30年農林水産省令第65号）が公布・施行され、フザプラジブナトリウム水和物を有効成分とする製剤が承認され、指定医薬品及び要指示医薬品に指定された旨本会に連絡されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

30日獣発第196号

平成30年10月17日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会
会長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査の実施について

このことについて、平成30年9月12日付け環自野発第1809121号をもって、環境省自然環境局野生生物課長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は本年度も本格的に渡り鳥の飛来が始まる10月より、野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査を進めることを別添のとおり各都道府県に通知したことと、同調査の実施に対する配慮を依頼するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

切り抜きニュース

犬や猫と共に生きる ペットと暮らす単身高齢者の幸せと覚悟

65歳以上の6人に1人が単身で暮らす時代、そのかわらで共に老い、時に生きがいや励みにもなるペットたちは、大きな存在です。ペットと暮らす単身高齢者たちに、その幸せや覚悟について、聞きました。

「この子のために、1日でも長く元気でいないと」

大阪市住之江区に住む橋本都子（くにこ）さん（74）の朝は、推定11歳の雌猫・月子の「ふみふみ」から始まる。おなかの上にそっと乗ってきて、せつせと前脚を動かす。「この子のために、1日でも長く元気でいないと」。甘えてくる月子の姿に、思いが募る。

社会に出てからずっと一人暮らしだった。結婚はせず、子どももいない。父母と兄はずいぶん前に亡くなり、姉一家をはじめ親戚は全員関東地方にいる。

そんな橋本さんのもとに2008年3月、月子はやってきた。橋本さんは、月子にとって4人目の飼い主。最初の飼い主には海外転勤のため捨てられ、2人目のところでは先住猫にいじめられてなじめず、3人目の飼い主は猫アレルギーになってしまったため、最終的に橋本さんのところにもらわれてきたのだ。転々としたためか、当初は物静かで鳴かない猫だったという。

猫中心に回る生活「毎日張りがある」

それから10年余り。70歳で音楽教室の講師を引退し、いまは月子中心に生活が回っている。月子に起こされ、月子のエサを買うために外出し、おやつをあげたりトイレの猫砂（ねこすな）を片付けたりするために動き回る。ときどき名前を呼ぶ。月子は「ニャン」とこたえてくれる。「最近になって、月子がよくしゃべるようになったんです。世話をしないと困る相手がいるから、毎日張りがあります」と話す。

気がかりは自分の健康。「ようやく心を開いてくれたのに、5人目の飼い主のもとに行くことになったらかわいそう。もう二度と悲しい目にあわせたくない」。だから毎朝の体操を欠かさず、高

血圧対策も心がけている。

それでも万が一に備え、高齢者によるペット飼育をテーマにしたセミナーなどにまめに足を運ぶ。月子のためにまとまった資金を残し、専門家に面倒を見てもらうための信託契約の検討も、最近始めたという。

最期まで飼う 覚悟の先に「老老介護」の可能性も

最期まで飼う。年齢を問わず、その覚悟がなければペットは飼えない。高齢者の場合、覚悟の先に、人とペットの「老老介護」の可能性も出てくる。

名古屋市千種区の細江明平（あきひら）さん（67）宅では、ダイニングテーブルのかたわらに推定18歳の雌犬・美美（みみ）がじっと横たわっていた。今年春ごろから歩けなくなり、寝たきりになった。

2000年12月、名古屋市動物愛護センターから譲り受けてきた中型の雑種犬。シェパードに似た外見で、近所の川で泳ぐのが大好き。「力の強い、立派な犬だった」という。妻・和子さんと、子どものような存在として育ててきた。

15年1月、和子さんにがんが見つかり、2週間余りで急逝した。心の準備ができず、大きな喪失感に襲われた。アルコールに逃げようとする細江さんを、美美が助けてくれた。

深酒しても、朝起きて、散歩に行かなければいけない。手作りしていたエサを、今まで通りあげないといけない。日が暮れたらまた、散歩に行かないといけない。「美美がいなかったら、自分はひどいことになっていた」と振り返る。

犬が死んだら「独りになってしまう」

美美が寝たきりになってからは、抱きかかえてオシッコに連れて行き、ウンチをもらせば拭いてやる。床ずれしないよう、頻繁に体勢を変える。点滴のため、週2回カートに乗せて通院する。「妻は急に逝ってしまった。美美は、介護を通じてしっかり『お別れの時間』を過ごさせてくれている」

和子さんが亡くなった直後には、自分が美美を残して先に死ぬことを憂えた。いまは、見送る時が来るのにおびえている。19キロあった美美の体重はいま7キロまで減ってしまった。「美美が死んだら独りになってしまう。どれだけ寂しくなるのか、想像もできない」と言う。

年齢を考えれば、新たに犬を飼い始めるのは難

しい。日本人男性の平均寿命は81.09歳（17年、厚生労働省調べ）。犬のそれは14.19歳（同、ペットフード協会調べ）。細江さんはこうつぶやく。「次、飼うならa i b oかな」。

高齢者が飼いきれられない犬や猫 全国で増加

12年の動物愛護法改正で、動物の飼い主には「動物がその命を終えるまで適切に」飼う（終生飼養）努力義務が課された。毎年数万匹単位で行われる、行政による犬猫の殺処分を減らす狙いがあった。こうした中で、高齢者が亡くなったり入院したりといった理由で犬猫を飼いきれられなくなり、捨てられる事例が全国の自治体で増加し、問題になっている。

朝日新聞が動物愛護行政を担う全国の都道府県や政令指定都市など115自治体を対象に行った調査（回収率100%）では16年度、犬で1185匹（件）、猫で1777匹（件）が「高齢者から、または高齢が原因と見られる理由」で捨てられていた（18自治体は理由など未集計。19自治体は件数で回答）。犬では、同年度に全国の自治体に飼い主が捨ててきた合計頭数の、少なくとも4匹に1匹にあたる。

こうしたことから56の自治体が、保護犬・保護猫を譲渡する際、譲渡対象者について、65歳前後を上限とする「年齢制限」を設けるなどの対応をしていた。14年度の調査では41自治体で、高齢者への譲渡を制限する自治体が増えていることがわかる。

「老犬・老猫ホーム」や信託サービスも

一方で、飼育しきれなくなった犬猫を救うための社会的な仕組みの整備も、始まっている。有料で最期まで飼育する「老犬・老猫ホーム」が増えているほか、信託銀行などを活用してペットに遺産を残し、その管理を専門家に任せるサービスなどが充実してきた。

高齢者に信託サービスなどを提供するNPO法人「ペットライフネット」の吉本由美子理事長は「犬猫の寿命が延びてきて、高齢者が飼いきれることが難しくなっている現実がある。高齢者によるペットの飼育放棄を防ぐには、なんらかの形で誰かが飼いつなぐしかない。社会として、そのための仕組みを整えていく必要があると思う」と話している。

（太田匡彦）

平成30年9月22日 朝日新聞

団地猫 癒やしか迷惑か 自治会など解決策見通せず

道端で猫を見かけると、愛くるしい姿に笑みを浮かべる人がいれば、そこが生活空間のため迷惑顔になる人もいる。その猫は元から野良猫だったのかもしれないし、誰かが育てられなくなった捨て猫かもしれない。通りすがりなら一瞬考えるだけだが、猫と向き合い続ける人々がいる。その活動や思いを紹介する。

2匹の黒猫と1匹の三毛猫が駆け回る。佐賀市の県営住宅「鍋島団地」（486戸）で、敷地内を縦横無尽に動く野良猫を住民が追い払おうとしていた。「そこら中にフンをして悪臭がひどい。この前は団地内にとめた車の上によじ登って傷を付けた」。団地に住む村松広明さん（71）はため息をついた。

村松さんや住民によると、鍋島団地で現在確認できる野良猫は、子猫2匹を含む6匹。村松さんが約5年前に入居した時には既にいた。1階に住む女性（81）が窓を常に少し開けて猫を部屋に入れ、餌をやっており、団地にすみ着いているとしている。

「今は夫も亡くなり私は一人。猫がいると癒やされる」。女性は15年ほど前、近くで段ボール箱に入って捨てられていた猫4匹に餌を与えた。猫は部屋に来るようになり、半身不随だった夫が室内で猫と遊ぶようになった。「生きている命をそのままに放っておけない」と口にするが、飼い猫ではないとする。過去には不妊去勢手術をしようと考えたこともある。「市役所に行ったが、個人では飼い猫でないと補助金が出せないとわれ、金銭的な余裕がなく諦めた」と振り返る。

一部の住民は2016年から県に苦情を訴えながら、フンをされるのを防ぐため、ベランダと地面の間に猫の侵入を防ぐネットを張ったり、車の上に猫よけのマットを置いたり、自費で対策をしている。

たまりかねた村松さんは県から団地の管理を委託されている管理会社「マベック」（佐賀市）に相談した。県営住宅ではペットの飼育は禁止されている。入居の際には管理会社がペットを飼えな

い旨を口頭で説明し、条件を明記した契約書への署名を求める。ところが、家賃が相場より安く、一定の収入以下という入居条件がある県営住宅は、母子家庭や1人暮らしをする高齢者のよりどころの一つで、マベックは「寂しさから隠れてペットを飼う人は多い」と指摘する。「何十匹もいて多大な迷惑がかかっているなどの悪質なケース」にまでならないと強制退去には至らないという。

マベックは女性に対し、何度も住民の苦情を伝えているが、「『野良猫だ』と言われると餌を与えないよう注意を促すことしかできない」と頭を抱える。

村松さんは団地の住民で組織する自治会にも対応を話し合うように持ちかけた。だが自治会長の東（あずま）武（たけし）さん（75）は「団地内には高齢者の孤独死といった課題が山積みで、猫にまで手が回らない」と、解決策を話し合う機運は高まっていない。村松さんは「このままでは猫が増え続ける」と危惧を抱いている。（池田美欧）

平成30年9月28日 毎日新聞

広告

わたしたち森久保薬品は人と動物の「これから」を真剣に考えています。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">胃腸と皮膚が気になる犬に</p>  <p>Dr. CREDO No.1 成犬用 総合栄養食 1kg・3kg</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">血流と健康が気になる犬に</p>  <p>Dr. CREDO No.2 中・高齢犬用 総合栄養食 1kg</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">下部尿路が気になる成猫に</p>  <p>Dr. IDEA No.1 成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g)</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成猫の体重管理に</p>  <p>Dr. IDEA No.2 成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g)</p>
--	---	--	---

M 森久保薬品株式会社

神奈川：046-221-0620 山梨：055-224-5278 群馬：027-230-3322 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
三郷：048-948-2112 栃木：028-666-3399 茨城：0296-43-1661 成田：0476-40-5811 茂原：0475-24-1613

平成30年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成30年10月20日現在)

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
4月			
5月			
6月15日(金) ～17日(日)	第96回日本獣医麻酔外科学会／第108回日本獣医循環器学会／第63回日本獣医画像診断学会 2018春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
7月1日(日)		南支部 「手術の基本とアップデート」 日本大学 浅野 和之 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
7月16日 (月・祝)		東支部 「猫のリンパ腫2018」 日本小動物がんセンター 小林哲也 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
7月29日(日)		北支部 「犬の正常を知る」 アニマルクリニックこばやし 小林孝之 先生 (深谷市 埼玉グランドホテル深谷)	
8月			
9月9日(日)	平成30年度 関東・東京合同地区獣医師大会(茨城)獣医学術関東・東京合同地区学会 (茨城県つくば市 つくば国際会議場)		
9月30日(日)		西支部 「家庭動物の終末期獣医療におけるアジェンダ」 「ホームドクターによるイヌの僧房弁逸脱症の臨床」 所沢愛犬病院 小暮 一雄 先生 (東松山市 ホテル紫雲閣)	
10月19日(金)	北支部・しゃくなげ会 「酪農場ベンチマーキングについて」 千葉県農業共済組合連合会 清水 秀茂 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
10月21日(日)		東支部 「犬の蛋白漏出性腸症 UPDATE2018」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
11月4日(日)		南支部 「犬と猫の消化器の超音波画像診断」 どうぶつの総合病院 福田 祥子 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
12月9日(日)		北支部 「疼痛を主徴とする神経筋疾患の診断と治療」 獣医神経病クリニックACORN 奥野 征一 先生 (深谷市 深谷男女共同参画推進センター)	
12月9日(日)		東支部 「犬と猫の糖尿病の維持管理、糖尿病性ケトアシドーシス」 まつき動物病院 松木 直章 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
12月21日(金)	農林支部 平成30年度埼玉県家畜保健衛生 生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
平成31年 1月20日(日)		さいたま市支部 「演題 未定」 講師 未定 (場所 未定)	
1月20日(日)		南支部 「演題 未定」 講師 未定 (場所 未定)	
2月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
2月8日(金) ～10日(日)	平成30年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(神奈川) (新横浜プリンスホテル)		
3月3日(日)		西支部 「演題 未定」 日本獣医生命科学大学 水越美奈 先生 (川越市 川越南文化会館)	
3月17日(日)		さいたま市支部 「演題 未定」 講師 未定 (場所 未定)	
3月17日(日)		西支部 「演題 未定」 どうぶつの総合病院 金園 農一 先生 (川越市 川越南文化会館)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vmc.org/>
ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

8月21日	農林支部・衛生支部合同研修会(さいたま市 埼玉会館)		記念講演会、祝賀会(さいたま市 清水園)
9月5日	第1回畜産懇話会(さいたま市 プリムローズ有朋)	11月25日	集合狂犬病予防注射実施者講習会(さいたま市 清水園)
9月9日	平成30年度関東・東京合同地区獣医師大会(茨城)、獣医学術関東・東京合同地区学会(茨城県つくば市 つくば国際会議場)	11月30日	平成30年度全国獣医師会会長会議(東京都千代田区 パレスホテル東京)
9月30日	西支部学術講習会(東松山市 ホテル紫雲閣)	11月30日	日本獣医師会創立70周年記念事業(東京都千代田区 パレスホテル東京)
10月8日	ソフトボール大会(さいたま市 大宮けんぼグラウンド)	12月1日	2018動物感謝デー in JAPAN(東京都世田谷区 二子玉川ライズ)
10月10日	第2回獣医事調査委員会(さいたま市 埼玉県農業共済会館)	12月9日	東支部学術講習会(深谷男女共同参画推進センター)
10月12日	第3回理事会(さいたま市 埼玉県農業共済会館)	12月9日	北支部学術講習会(深谷市 埼玉グラウンドホテル深谷)
10月21日	東支部学術講習会(越谷市 越谷サンシティ)	12月21日	平成30年度埼玉県保健衛生業績発表会(さいたま市 埼玉会館)
10月21日	埼玉県歯科医師会創立110周年記念式典(さいたま市 ソニックシティ)	平成31年	
10月27日	彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2018(所沢市 所沢航空記念公園)	1月20日	さいたま市支部学術講習会(場所未定)
10月27日	日本動物看護学会第27回大会開会式(さいたま市 ソニックシティ)	1月20日	南支部学術講習会(場所未定)
10月29日	第62回埼玉県公衆衛生大会(さいたま市 埼玉会館)	2月8日～10日	日本獣医師会獣医学術学会年次大会(横浜市 新横浜プリンスホテル)
11月4日	南支部学術講習会(さいたま市 埼玉会館)	2月15日～17日	第15回日本獣医内科学アカデミー学術大会(横浜市 パシフィコ横浜)
11月16日	第8回日本医師会・日本獣医師会連携シンポジウム(東京都文京区)	3月3日	関東・東京合同地区獣医師会理事会(茨城県水戸市 三の丸ホテル)
11月25日	埼玉県獣医師会創立70周年記念式典、	3月3日	西支部学術講習会(川越市 川越南文化会館)
		3月17日	西支部学術講習会(川越市 川越南文化会館)
		3月17日	さいたま市支部学術講習会(場所未定)

編集後記

今年の十三夜は10月21日でした。中秋の満月は、太平洋からの大気の影響により曇りがちでしたが、10月の関東地方は大陸からの乾いた大気に覆われ見事な『後の名月』を愛でることができました。騎馬民族は、カビや細菌の元凶である湿気を嫌い、乾燥地帯に居を求めていました。ゲルの中から仰ぎ見る月は常に蒼く輝くものであったのでしょうか。古来、天山山脈から鴨緑江に至るモンゴル高原を遊牧の地として生活していた我々の遠い先祖は、朝鮮半島に南下し高句麗国を建国し、高句麗滅亡後はユーラシア大陸の果ての日本列島に定着したとき馬から降り土着したと言われていています。『続日本紀』によると霊亀2年（716年）に関東地方に居住していた高麗人1799人を集めて高麗郡を置いたと記録されています。その中心は高麗王若光を祖とする高麗神社でした。高麗家から分家した一族は、鎌倉中期には駒井、井上、新、神田、新井、和田、吉川、大野、金子などの氏族になったと言われていています。新羅系渡来人であった金上元は秩父における銅の発見者であり、新羅郡の中心地は志木市であったろうと言われていています。生活の場を馬上から地表に移して千数百年、我々の気質も環境に適応する中で変化しました。騎馬民族が蔑んだ地表で土を耕す農耕民になってからは、集落での共同作業が生活の必須条件となり、必然的に合議や共同作業といった仲間意識の醸成が生活する上で大切なこととなりました。蒙古斑という人種として共有する形質を持ちながら、民族として長く国境を隔てたことにより気質を異にし、相互理解を妨げる壁が形成されているように感じます。

経済社会の広域化はもはや後戻りできないほどに成長しました。しかし、政治家は自らの独自性を強調するがためかのように、社会全体の流れに竿を差すような主張をし、奇を衒い民衆の注意を引きつけようとし、嘗て大国と言われたUKや現在の大国であるUSAの我儘とも

言える自国第一主義は、人びとの焦燥の表現とも言えるでしょう。人々の本来の善意を信じれば、事態は必ず良い方向へ収束することでしょう。『驕れる者は久しからず』とも言います。人間という生物の叡智を信じ、ひとりひとりの人々が自らを見つめ人類の平和と永続性を願えば、必ず道は拓かれましょう。

今年のノーベル医学賞は、本庶 格先生が受賞されました。昨年のノーベル文学賞のイシグロ氏が、臓器移植のために生まれ成長するクローン人間を描き問題提起をしました。生命科学の進むべき道は、自然の摂理を知りそれぞれの時代の人々が適応する道すじを指し示すことにあります。iPSやクローン技術は、自然を人の手のひらの中に置くことにより操作可能にしようとする意図が見え隠れします。後世の人が見れば、不老長寿の薬を手に入れようとした滑稽さとも見えるかもしれません。本庶先生の研究は、免疫機構を分子レベルでその機序を解明したことにあり、まさに自然の摂理を明らかにしたことです。原子物理学の発展が一方では、核分裂技術を生み出し、人類や地球の将来を危うくしています。同様に生命科学も人工受精に始まる生命誕生領域への介入が、不妊治療の福音とともに生命操作への入口ともなっています。獣医学を含む生命科学は、常に生命の尊厳に畏敬を払い、有限の生命の輝ける生涯にどのようにコミットするのかと問いつつ慎重にすることが求められます。

70周年を迎えた本会は、生命科学の一翼を担ってきました。今後はこれまで以上に、秩序を見失いがちな生命科学の行く末に叡智を提供できるように体制を整備したいものです。

大陸の高気圧の張り出しと冷気を肌を感じながら、遠く祖先の地に思いを馳せ十三夜の名月とともに10月号の会報をお届け致します。

(初雁)



NexGard SPECTRA

ネクsguard スペクトラ



動物用医薬品 要指示
犬用ノミ・マダニ駆除剤
犬糸状虫症予防・消化管内寄生虫駆除剤

フィラリア症
の予防

ノミ
の駆除

マダニ
の駆除

お腹の虫
の駆除

これ1つでOK。

オールインワンのお薬があります。



Broadline

ブロードライン



動物用医薬品 要指示
猫用ノミ駆除・寄生予防/マダニ駆除剤
猫の犬糸状虫症予防/消化管内線虫・糸虫駆除剤

市登録商標



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県筑摩郡山形村8228
TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870
TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24
TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243
TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1
TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4
TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564

アクティ株式会社

<http://www.acty-kk.com>